



WASEDA ROPE

平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業  
推進校実施報告書

- 1 学校名 : 小国町立小国小学校
- 2 実施日時 : 2017 (平成 29) 年 1 月 31 日 (火)
- 3 対象 : 4・5・6 年生 (330 名)
- 4 派遣オリンピック : 勅使川原 郁恵さん (ショートトラックスピードスケート 長野 (1998)・ソルトレイク (2002)・トリノ (2006) オリンピック 出場)
- 5 授業内容 : 講演+実技

2017 (平成 29) 年 1 月 31 日 (火) に、小国町立小国小学校にて、4・5・6 年生 330 名を対象とし、長野・ソルトレイク五輪のショートトラック競技リレーで 4 位に入賞され、現在はスポーツキャスターや日本各地でウォーキングの指導を行うなど、様々な方面で精力的に活動されている勅使川原郁恵さんにご講演いただきました。

講演の冒頭では、児童たちに質問をしながら、オリンピックのスケート競技には、フィギュアスケート、スピードスケート、ショートトラック等複数の種目があるということを紹介されました。また、講演では、児童たちと同じ年齢だった頃の勅使川原さんの 1 日のスケジュールが紹介されました。小学生時代の勅使川原さんは、まず、起床後に 1 時間走り、朝食をとった後、再び徒歩 30 分の通学路を走って学校に向かい、毎日 1 番に教室に入り、掃除を行っていたようです。授業の時間には、一生懸命先生のお話を聞いて、文武両道を目指して勉強も頑張っていたとお話されました。さらに、放課後は、走って帰宅し、夜の 10 時までスケートリンクで練習を行ったそうです。練習後夜 11 時に帰宅し、そこから宿題を行っていたようです。上記の小学生時代の勅使川原さんの多忙な 1 日のスケジュールを聞いた児童たちは、驚きを隠せない様子でした。

講演中、勅使川原さんは、児童たちと頻繁にコミュニケーションを図りながらお話しされ、児童たちの心にも大変響いているようでした。

講演後には、体育館にてウォーキングの実技指導が行われました。最初に、勅使川原さんが学年ごとに用意した 3~4 種類の動きの模範演技を示され、児童たちはそれを真似しながら取り組む形ですすめられました。児童だけでなく先生方も参加され、和気あいあいとした雰囲気でした。実技指導の進行に伴って、徐々に綺麗なウォーキングができるようになっていく姿は圧巻でした。

実技指導後、勅使川原さんは、自身が引退後にも夢を持ち続けていることについてお話しされ、生涯にわたって夢は持ち続けることができるものであるというメッセージを児童たちに送ってくれました。

事後アンケートでは、「文武両道を目指してがんばりたい」、「ショートトラックを観戦してみたいと思った」、「夢をもつことのたいせつさを学んだ」、「自分も毎朝走って登校しようと思った」、「勅使川原さんから教わったウォーキングのフォームを普段から意識していきたい」といった記述がみられ、勅使川原さんのお話が児童たちの心にもたしかに響いているようでした。

6 授業の様子



講演する勅使川原さん



講演後の質疑応答の様子



ウォーキングの実技指導の様子



実技指導終了後の集合写真